私は、大学でフランス語を専攻していました。中学生の頃からフランスに対して漠然とした憧れがあって。その時からいつか学ぼうと決めていました。はっきりとしたきっかけは覚えていないのですが、テレビっ子なので、おそらくテレビでフランスの景色や建物を目にしていたんだと思います。幼い頃から、なんとなくフランスって素敵だなーと思っていました。

でも、実際学んでみると、日本語では発音しないような音があったり、名詞にはそれぞれ女性名詞、男性名詞と決められていたり……フランス語に関する知識がまったくない状態から勉強を始めたので、こんなに難しかったのか！！と学びたての頃は打ちのめされましたね。フランスへの憧れや好きな気持ちがなかったら、勉強をやめてたかもしれないです。それに、フランス語だけでなく英語の単位もとらないとで、常に単語帳を持ち歩いていました。

もちろん、つらいだけでなく、嬉しいこともありました。フランス旅行中、自分の話したフランス語がきちんと通じたときに、勉強してきて良かったなと思いました。実際現地でいざ喋ろうと思ったときに全然言葉が思いつかなかったので、ほんとに軽い挨拶程度しか話せなかったんですけどね。